

ワーキンググループ 開催報告について

▶開催実績

日付	対象	内容
第1回ワーキング 4月21日（火）	当事者団体、家族会、 相談支援専門員	ヒアリングシートを用いた 現状把握と課題抽出
第1回ワーキング 4月23日（木）	事業所等支援者、じり つ支援協議会、相談支 援専門員	ヒアリングシートを用いた 現状把握と課題抽出
第2回ワーキング （先進地視察） 6月3日（水）	ワーキングメンバー内 の希望者8名	福井市「あすわ」「のび ろ」の視察 ※詳細は別紙
第3回ワーキング （全体会） 6月16日（火）	全メンバー	加賀市のニーズと機能 （資源）の洗い出し・可 視化

▶ワーキングから見えた主な本市の現状と課題

① 支援のニーズに関する指摘

・未就学児支援の重要性

発達支援に関して、特に就学直前のタイミングまでの早期支援が非常に重要である。

・包括的な支援者支援

こども本人への支援だけでなく、学校、事業所、そして保護者を支える「支援者支援」の視点が不可欠である。また、横の繋がりを強化し地域全体の支援の連携が必要である。

・各機関の見える化

機能はあるのにどこへ行けばいいかわからない場合がある。各機関の現状の見える化が必要。

▶ワーキングから見えた主な本市の現状と課題

② 提供体制（資源）の不足感

・ 児童発達支援事業の受入

人材不足と専門性の向上の課題から、市内4箇所の事業所のうち3箇所が受入を制限せざるを得ない現状がある。

・ 特定サービスの不足

児童発達支援事業のほか、ショートステイ（短期入所）の資源が不足している。

・ 休日・人材の課題

児童通所サービス全般において、土日祝日の受入枠のニーズがあるものの、慢性的な人材不足等により対応しきれないことが課題となっている。

▶専門部会への提案

ヒアリングシートをベースに現状と課題をマトリックス表に落とし込み、第3回ワーキングにて「ニーズと機能（資源）の対応表」（資料2）を作成しました。

【今後の整理の方向性】

浮き彫りになった課題のすべてを単独で即座に解決することは困難です。

そのため、今後は「横の連携」を強化し、お互いに不足している部分を補い合えるようなネットワーク体制の強化およびそのマネジメントが求められています。

このワーキングの成果（可視化された現状と課題）を踏まえ、専門部会にてご審議をお願いいたします。